



かたき土を破りて

民族のいかりにもゆる島 沖縄よ

我らと我らの祖先が血と汗をもて

守りそだてた沖縄よ

我らは叫ぶ 沖縄よ

我らのものだ 沖縄は

沖縄を返せ 沖縄を返せ

沖縄に支援と連帯の大行動を

**沖縄を返せ! 辺野古新基地建設阻止のためのうたごえ基金**  
(略称/うたごえ辺野古基金)にご協力ください。

【よびかけ人(敬称略・順不同)】

森村誠一(作家)

池辺晋一郎(作曲家)

木津川計(雑誌「上方芸能」発行人/元立命館大学教授)

池宮城紀夫(辺野古埋立承認取消弁護団長)

大城立裕(小説家)

高良政勝(公益財団法人対馬丸記念会理事長)

仲村善幸(島ぐるみ会議名護事務局長)

松田藤子(二見以北住民の会会長)

宮里昇(新基地建設反対名護共同センター所長)

田中嘉治(日本のうたごえ全国協議会会長)

石垣潔(沖縄のうたごえ協議会会長)

【基金の振込先】

日本のうたごえ全国協議会 ゆうちよ銀行 00110-1-26538

※振り込み用紙に「辺野古基金」とお書きください。

沖縄のうたごえ協議会

ゆうちよ銀行 17090-14884681

※送金の際は、atempo1001@gmail.com または 090-1949-6073(石垣)までご連絡ください。

【問い合わせ先】 沖縄を返せ! 辺野古新基地建設阻止・うたごえ大行動本部

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-16-36 日本のうたごえ全国協議会内

TEL.03-3200-0106 FAX.03-3200-0193

# 「沖縄を返せ!辺野古新基地建設阻止のためのうたごえ基金」 (略称/うたごえ辺野古基金)の募集をよびかけます。

本年は被爆・戦後70年の節目の年です。太平洋戦争で日本で唯一地上戦となり多くの犠牲者を出した沖縄は、サンフランシスコ条約によって戦後27年間米軍占領統治下に置かれ、全てに軍事優先政策がとられる中で県民の自由と民主主義・人権は剥奪され続けてきました。

今日、沖縄県民はじめ国民多くの悲願である「核も基地もない平和な沖縄」を取り戻すたたかいは大きく広がってきており、米軍普天間基地の名護市辺野古移設に反対する市民の座り込みは、2004年に始まって以来4千日を超えました。「5千日は迎えない」と市民団体の新基地建設阻止への決意が高まる一方で、現安倍政権は、「戦争法案」を今国会で強行採決させようと「戦争する国づくり」に血道を上げています。

去る5月17日、沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に反対する「戦後70年 止めよう辺野古新基地建設!沖縄県民大会」が那覇市セルラースタジアムで開かれ、「辺野古新基地ノー!」「我々は屈しない!」、地元・全国から集まった3万5千人の大歓声と口笛が渦巻く中、揺るぎない沖縄の心を一つにしました。

私たちうたごえも緊急な呼びかけにも関わらずこの集会に、全国から12名が参加し、本年3月に再結成された「沖縄のうたごえ協議会」の20人とともに32人で歌い、参加者を激励することができました。翌日の辺野古の座り込み支援行動でも、「ずっとここにいてください」と代表者に言われるなど、うたごえが闘いの励ましになっていることが報告されており、引き続きうたごえとしても支援の活動を強めていくことが求められています。この沖縄支援・連帯行動は一過性のものではなく、これからが本腰を入れた息の長い闘いとなっていくことが予想されます。

そこで、このたび辺野古新基地建設阻止のたたかいを組織的に押し進めていくために日本のうたごえ全国協議会と沖縄のうたごえ協議会との共同で『沖縄を返せ!辺野古新基地建設阻止・うたごえ大行動本部』を立ち上げ、普天間基地の閉鎖・撤去及び辺野古新基地建設を断念させる運動の前進を図るために、地元への物心両面からの連帯・支援と『うたごえ大行動本部』闘争資金を確保することを目的として、うたごえ独自の『沖縄を返せ!辺野古新基地建設阻止のためのうたごえ基金』(略称/うたごえ辺野古基金)を設立することといたしました。

多くの皆さま方のご協力・ご支援を心からお願いいたします。

2015年6月23日沖縄慰霊の日に

